

イノシシ被害から

農作物を守ろう！



イノシシによる被害は、県北地域から県央地域の中山間地域と筑波山周辺の地域を中心に拡大しています。このような状況のなか、各種対策を講じていますが、被害軽減につながっていないのが現状です。

その原因としては、捕獲数を上回って生息数が増加していること、餌が多く身を隠せる水田耕作放棄地が増加している、農地に近付きやすい条件が増えていること、などが考えられます。

イノシシって

こんな動物です

● ずんぐりした体形です

日本に生息するイノシシは、通常50〜60kgで、100kgを超えるものもいます。ずんぐりとした体つきは、藪山の移動に適しています。



● 鼻はすぐれもの

嗅覚は敏感で、土中のタケノコなどを見つけて掘り起こすことができます。

● 夜行性ではありません

人間がいなければ昼間でも、エサを求めて田畑に出没します。

● 雑食で何でも食べます

ドングリ、クズの根茎、タケノコなどを好んで食べ、乳熟期の稲や野菜、イモ類、マメ類も食べます。

柿などは地面に落ちた果実だけでなく、枝を折り食害することもあ

ります。
へびやミミズ、昆虫類なども食べます。



● 出産は年一回です

出産期は4月から5月。平均4、5頭を出産し、大人になるのはその半数です。

● 運動能力

1m程度までなら飛び越えることができ、とても柔軟なため、大人のイノシシでも20cmの隙間をくぐりぬけることができます。

そして、短足ですが、時速40km以上で走ることができ、「猪突猛進」といわれていますが、急停止、急旋回もできます。

イノシシを 寄せつけないために

(1) 農地をエサ場にならない

■ 収穫しない野菜や果樹などは農地に放置せず、簡単に取られないようにネットで囲んだり、埋設するなど適切に処理しましょう。

■ 家庭から出た生ごみ、クズ野菜を堆肥がわりに農地や庭先に放置せず、コンポストなどを利用して堆肥化しましょう。

(2) 人家やお墓の周辺に鳥獣の餌となるものを放置しない

■ 果物、ジュース等のお墓の供え物は、お参りが終わったら持ち帰りましょう。

(3) あぜなどの雑草を管理する

■ イノシシの隠れ場所となりやすい林縁部の草地は、定期的な草刈りに努めましょう。あぜをシートで覆うことで、草刈りを省力化する方法もあります。

(4) 休耕地や耕作放棄地の管理

■ 野生鳥獣の餌場や隠れ家にならないように、定期的に雑草を刈るか、耕耘をして雑草の生育を抑えましょう。

■ 家畜（牛やヤギなど）を放牧したり、防護柵で囲んだりする方法もあります。

イノシシを侵入させないために

イノシシは、防護柵の上を跳び越えるよりも、防護柵の隙間や下からくぐり抜けようとすることが多いと思われます。そのため、野生獣が侵入しやすいこれらの隙間をなくすことが、すべての防護柵に共通する設置や維持管理の基本となります。

下の表は防護柵の種類と特徴です。金網フェンスと電気柵はより高い効果が得られます。



■問い合わせ

農林課 農林畜産振興グループ

☎ 52-1111

内線 202

各総合支所 経済建設課(直通)

山方 ☎ 57-6811

美和 ☎ 58-3851

緒川 ☎ 56-3993

御前山 ☎ 55-2114

◆◆◆各種防護柵の種類と特徴◆◆◆

防護柵	トタン板	ネット・金網フェンス	電気柵
資材の特徴と価格	<ul style="list-style-type: none"> 幅80cmのトタン板が効果的 200円～500円/m程度 	<ul style="list-style-type: none"> 金属線を編みこんだ獣害専用ネットが効果的 押し広げられにくいように10cm以下の網目の大きさがよい。 200円～1,200円/m程度 	<ul style="list-style-type: none"> アルミ線、針金あるいは金属線を編みこんだロープなどを使用する。 250円～1,000円/m程度
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> つなぎ目や地面の間に、隙間をつくらないように設置 	<ul style="list-style-type: none"> 侵入方向にネットを垂らして侵入防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 漏電防止のため、雑草に電線が触れないよう定期的に下草を除草する。
設置例			

なお、防護柵設置に対する補助制度がありますので、詳しくは市役所経済建設部農林課または総合支所経済建設課までお問い合わせください。

平成22年度イノシシ捕獲実績

	罨	銃	計
大宮	12	0	12
山方	11	0	11
美和	2	0	2
緒川	8	3	11
御前山	20	6	26
計	53	9	62

有害鳥獣捕獲は、農作物等の被害防止のため、市の許可を受けて野生鳥獣を捕獲する方法で今年度は、年3回実施します。有害鳥獣のうち、イノシシの昨年度の捕獲状況は左表のとおりです。

野生鳥獣の捕獲には、「狩猟」と「有害捕獲(許可捕獲)」の方法があります。狩猟は、狩猟鳥獣を11月15日から3月15日の狩猟期間に定められた方法で捕獲するもので、野生鳥獣を捕獲するには、狩猟免許と狩猟者登録が必要です。

計画的な捕獲について